

モンゴル経済概況 (2014年12月)

2015年1月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL：03-3582-5181

E-mail：ORG@jetro.go.jp

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

アンケート返送先 FAX： 03-3582-5309
e-mail：ORG@jetro.go.jp
日本貿易振興機構 海外調査部 中国北アジア課宛



● ジェトロアンケート ●

調査タイトル：モンゴル経済概況（2014年12月）

今般、ジェトロでは、標記調査を実施いたしました。報告書をお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書での内容について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

ご所属	<input type="checkbox"/> 企業・団体	会社・団体名
	<input type="checkbox"/> 個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

< 目 次 >

1. 政治・外交動向	1
(1) 国内	1
①【閣議】第 58 回定例閣議	1
②【国会】アルタンホヤグ首相解任決議案が可決	1
③【国会】2015 年度予算が成立	1
④【国会】第 28 代首相にサイハンビレグ前官房長官が就任	2
⑤【閣議】第 59 回定例閣議	2
⑥【閣議】第 60 回定例閣議	2
(2) 外交・国際	4
①【国際】第 2 回国連内陸開発途上国会議に出席	4
②【中国】大統領が中国を訪問	4
③【国際】大統領が APEC 首脳会談に出席	4
④【香港】香港でモンゴル投資フォーラムを開催	4
2. 経済動向	5
(1) マクロ経済	5
①【インフレ・CPI】11 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比 11.5 ポイント上昇	5
②【マネーサプライ】M2 は前年同月比 9.1%増	6
③【貸付残高】貸付残高は前年同期比 16.9%増、不良債権残高は同 8.3%増	8
④【金利】トゥグルク金利は前月比 0.3 ポイント低下の 18.6%	9
⑤【財政収支】1～11 月の財政収支は 4,405 億トゥグルクの赤字	10
(2) 貿易・投資	12
①【貿易統計】1～11 月の貿易収支は 3 億 5,825 万ドルの黒字	12
②【外貨準備高】グロス外貨準備高は 13 億 9,810 万ドル	15
③【為替】対ドルはトゥグルク安、対円はトゥグルク高	16
(3) 産業	17
①【工業生産】1～11 月期の工業生産は前年同期比 26.7%増加	17
②【輸送業】鉄道貨物輸送が前年同期比 1.0%減、航空貨物輸送が同 16.3%減	17
3. 社会動向	20
①【社会保険・社会福祉】社会保険支出は前年同期比 22.9%増	20
②【保健・医療】伝染病感染者数は前年同期比 10.5%減	20
③【平均給与】平均給与は前期比 0.8%増の 79 万 2,800 トゥグルク	22
2015 年 2 月～5 月の予定	23

1. 政治・外交動向

(1) 国内

①【閣議】第 58 回定例閣議

第 58 回定例閣議が 2014 年 11 月 1 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・皮革工場移転先を変更

2012～2016 年度の政府行動計画にウランバートル市およびダルハン市の郊外に皮革工場建設が盛り込まれ、2012 年には皮革工場を段階的に新工場区域に移転する国会決議が出されていたが、皮革工場をウランバートル市ハンオール区 14 ホローに集積させるよう変更した。皮革工場団地のインフラおよび排水の浄化・再処理施設の建設を 2014 年 11 月に開始し、道路・運輸・建設・都市計画省と協力して早急に行うよう、トゥブデンドルジ工業農牧業大臣とバトウール市長に指示した。

・公証業務に関する法律改正案を国会に上程

地方における公証業務の改善のため、事業認可法および公証法に規定された許認可を持つ公証人のみが行える現在の規定を変更し、法曹組合により認定された法科大学の学士以上、かつ 3 年以上の実務経験があるモンゴル人に資格認定試験の受験資格を与え、公証業務の許認可を無期限で与える改正案を国会に上程する。また、改正案では行政登録機関がオンラインサービスを始めたことに関連して、公証人と登録機関が認証情報データベースを構築し、証明書や申請のオンライン発行が可能になる。

②【国会】アルタンホヤグ首相解任決議案が可決

10 月 17 日、与野党議員 28 名が連名で提出した首相解任決議案は 11 月 5 日の国会本会議で審議され、採決の結果、賛成 36 票、反対 30 票の賛成多数で可決された。解任決議案には野党・人民党 26 名のほか、与党・民主党から 8 名、公正連合から 2 名の造反者が賛成に回ったため、賛成が過半数を上回った。

アルタンホヤグ首相は同日辞任し、首相空席の間はテルビシダグワ副首相が首相を代行する。

③【国会】2015 年度予算が成立

11 月 14 日、国会本会議で 2015 年度予算関連 3 法案（国家予算法、社会保険基金予算法、人間開発基金予算法）が成立した。国家予算の歳入は 7 兆 1,599 億トゥグルク（GDP 比 29.8%）、歳出は 7 兆 5,992 億トゥグルク（同 31.7%）、収支は 4,392 億トゥグルクの赤字（同 1.8%）で承認された。予算作成に用いたマクロ指標は、GDP（名目値）23 兆 9,885 億トゥグルク、実質成長率 7.1%、輸入 68 億ドル、輸

出 58 億ドル、物価上昇 7.0%と予想。鉱山分野から 1.1 兆トゥグルクの税収を見込む。

また、2015 年度予算より、チンギス国債など外国債務の返済資金が計上された。

④【国会】第 28 代首相にサイハンビレグ前官房長官が就任

11 月 21 日、国会本会議で与党・民主党推薦のサイハンビレグ前官房長官が野党欠席の中で承認され、第 28 代首相に就任した。サイハンビレグ新首相は所信表明演説の中で「モンゴルは現在、危機的状況にあり、新内閣の最重要課題は一にも二にも経済である。国の重要課題に関しては野党とも協力する必要がある、決断力と勇気を持ってこれまで先延ばしてきた問題に可及的速やかに対応する」と述べた。

今後、首相が新閣僚の人選を行い、国会に閣僚名簿を上程して承認を受ける。新大臣就任までは現大臣が代行する。

⑤【閣議】第 59 回定例閣議

サイハンビレグ新首相のもと、第 59 回定例閣議が 11 月 21 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・改正・商事仲裁法の要綱案を承認

2003 年に施行された商事仲裁法は国連国際貿易法委員会のモデル法に添っており、同モデル法が 2006 年に改正されたため、モンゴルでも法改正が必要になっている。改正により、商事仲裁に対する社会の信頼を高め、商事仲裁を紛争解決手段として普及させ、商事仲裁により紛争解決の時間と費用を節約する効果が期待される。

・有機食品法の要綱案を承認

有機食品法の要綱案を審議し、閣議での意見を反映して承認することを関係閣僚に指示した。モンゴルでは、有機農産物、加工食品および関連産品を登録し、成分分析する法的環境が未整備である。そのため、食品生産者および販売業者に対する基本的要求事項、支援制度の法的整備が必要とされている。

⑥【閣議】第 60 回定例閣議

第 60 回定例閣議が 11 月 26 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・国債の発行・売買に関する規則を承認

現在、政府が発行する国債の 93.5%を商業銀行が引き受けており、商業銀行以外の国内外の投資家を国債市場に参加させることで投資家数を増やし、市場の拡大と

競争を促進するため「国債発行・売買規則」を承認した。規則により証券取引所でも国債の取引が可能になり、国民や企業にも小口国債を販売することで民間の資金を銀行預金以外の金融商品に投資させることができる。

・大学・研究所内にベンチャー企業を設立

モンゴルでは研究所の研究成果を量産化する技術が未熟なため、製品化に至っていない技術が多くある。そのため、2012年施行のイノベーション法に基づき教育科学省が作成した「研究所内ベンチャー企業設立規則」を承認した。本規則により研究所内にベンチャー会社を設立・運営することで、研究成果を市場に提供し、イノベーション、ハイテク産業を発展させる基礎を整備する。

(2) 外交・国際

①【国際】第2回国連内陸開発途上国会議に出席

オーストリアのウィーンで第2回国連内陸開発途上国(LLDCs)会議が開催された。会議では LLDCs が直面する諸問題解決のための具体的方法を模索し、LLDCs の発展を支援する目的でウィーン宣言および「2014-2024 年行動計画」を採択した。

同行動計画には、LLDCs の安定的発展の促進、貧困削減を目的としたインフラや国際貿易手続きの簡素化などの主な方針の他、経済多様化、高付加価値製品の製造、農業分野の開発、地域統合の拡大、LLDCs と通過国との連携強化、ウランバートルに開設された LLDCs 国際研究センターとの協力などの課題が盛り込まれた。

②【中国】大統領が中国を訪問

APEC 首脳会談出席のため北京を訪問中のエルベグドルジ大統領は中国の習近平国家主席と会談した。習主席は今年 5 回目となるエルベグドルジ大統領との会談が両国関係の緊密さの現れであると述べ、両国の総合的戦略的パートナーシップ関係を促進する意欲を表明した。エルベグドルジ大統領は APEC 首脳会談への招待に謝辞を述べ、2014 年 8 月の習主席のモンゴル訪問の歴史的意義を強調した。

会談では石炭ガス化およびインフラ分野での協力の拡大、モンゴルから中国への肉製品の輸出協力に関して双方が前向きであることを表明した。

③【国際】大統領が APEC 首脳会談に出席

エルベグドルジ大統領は、北京で開催された APEC 首脳会談に出席し「インフラ開発の強化」について意見交換した。「パートナーシップに関する交渉」というテーマにおいて同大統領は、アジア・ヨーロッパ間および中国・ロシア間の物流が増加している近年、モンゴルは地理的優位性を利用して両隣国間の貿易・輸送に貢献するだけでなく、両隣国との協力の下で、アジア・ヨーロッパ間の物流網に積極的に参加する意思を表明した。

④【香港】香港でモンゴル投資フォーラムを開催

11 月 18 日、香港においてモンゴル投資フォーラムが開催された。同フォーラムには、モンゴル銀行のゾルジャルガル総裁、チョローンバト経済開発元副大臣、スフバートル在中國モンゴル大使、モンゴル投資局のジャブハランバートル局長ら関係者および国内外のビジネス関係者や投資家が参加し、モンゴルのマクロ経済、金融セクター、投資環境の現状を分析し、投資家の信頼の回復および経済の活性化に関する方法を多面的に論議した。また、同フォーラムでは、香港に新設されたモンゴル商工会議所の開所式が行われた。

(出所：モンゴル政府官房、モンゴル国会、モンゴル外務省の各ウェブサイト)

2. 経済動向

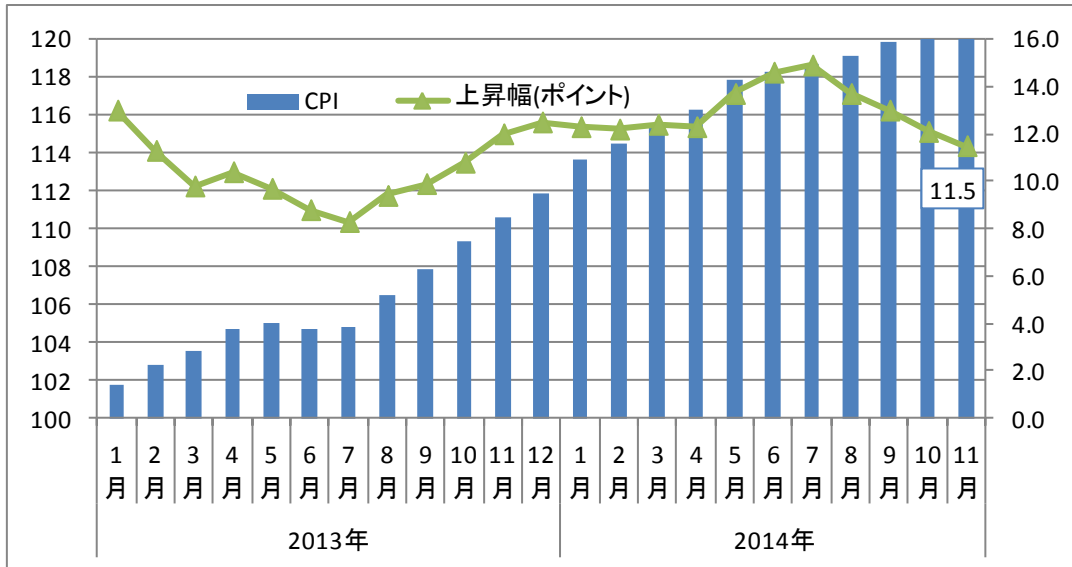
(1) マクロ経済

①【インフレ・CPI】11月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比 11.5 ポイント上昇

11月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比で 11.5 ポイント(前月比では 0.7 ポイント)上昇した(図1、表1参照)。

(図1)消費者物価指数(CPI)の推移

(左軸:CPI、右軸:前年同月比上昇幅)



(出所)国家統計局月報

(表1)消費者物価指数(CPI)の推移

	2013年	2014年										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
消費者物価指数(CPI)	111.9	113.6	114.5	115.3	116.3	117.8	118.3	118.7	119.1	119.8	120.6	121.3
前月比	1.3	1.7	0.9	0.8	1.0	1.5	0.5	0.4	0.4	0.7	0.8	0.7
前年同月比	12.5	12.3	12.2	12.4	12.3	13.7	14.6	14.9	13.7	13.0	12.1	11.5

(注1)消費者物価指数(CPI)は2013年初を100とする。

(注2)前月比、前年同月比は上昇幅(ポイント)。

(出所)国家統計局月報

品目別では、教育が 16.8 ポイント、住居・水道が 16.4 ポイント、被服および履物が 15.0 ポイント、家具・日用品が 12.8 ポイント、アルコール・タバコが 10.6 ポイン

ト、保健医療が 9.6 ポイント、食料品が 9.3 ポイント、交通・輸送が 8.5 ポイント、レストラン・ホテルが 8.3 ポイント、娯楽が 7.9 ポイント、その他の商品・サービスが 12.5 ポイントそれぞれ前年同月比で上昇した。郵便・通信は 0.0 ポイントだった（表 2 参照）。

（表 2）品目別の消費者物価指数(CPI)上昇幅 （単位:ポイント）

品目名	前年同月比		前月比	
	10 月	11 月	10 月	11 月
食料品	10.7	9.3	Δ0.6	0.2
アルコール・タバコ	10.9	10.6	0.6	0.5
被服および履物	16.1	15.0	1.0	1.4
住居・水道	14.8	16.4	5.3	2.1
家具・日用品	14.2	12.8	0.8	0.8
保健医療	9.2	9.6	0.3	1.1
交通・輸送	8.5	8.5	0.2	0.3
郵便・通信	0.0	0.0	Δ0.1	0.0
娯楽	8.3	7.9	0.8	1.1
教育	16.8	16.8	0.0	0.0
レストラン・ホテル	10.1	8.3	0.1	0.4
その他の商品・サービス	15.9	12.5	0.4	0.3

（出所）国家統計局月報

②【マネーサプライ】M2 は前年同月比 9.1%増

11 月末時点の通貨供給量(M2)は前年同月比 9.1%増(前月比 0.5%減)の 9 兆 9,273 億トウグルクだった（表 3、図 2 参照）。

なお、総預金は前年同月比 13.4%増(前月比 1.5%増)の 6 兆 8,529 億トウグルク、トウグルク預金は前年同月比 7.5%増(前月比 1.6%減)の 4 兆 9,768 億トウグルク、外貨預金は前年同月比 33.0%増(前月比 10.9%増)の 1 兆 8,758 億トウグルクだった。

マネーサプライの構成比は、トウグルク預金が 50.1%、トウグルク当座が 12.8%、外貨預金が 18.9%、外貨当座が 14.0%、現金が 4.2%だった。前年同期比で外貨預金は 3.4 ポイント、外貨当座は 0.5 ポイント増加し、トウグルク預金は 0.8 ポイント、トウグルク当座は 1.1 ポイント、現金は 2.0 ポイント減少した（図 3 参照）。

(表 3) マネーサプライの推移

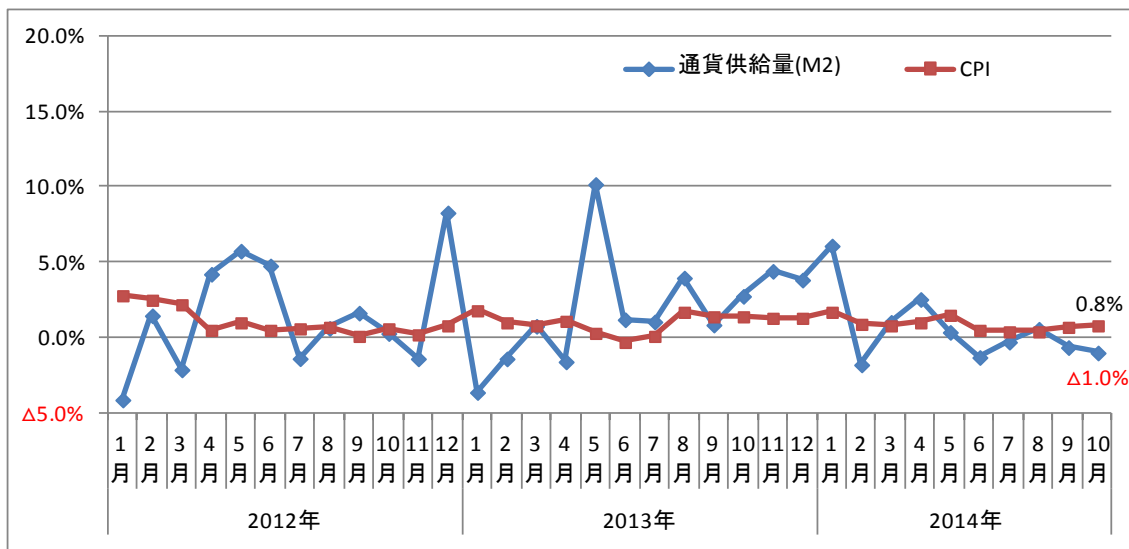
(単位: 億トウグルク、%)

	2013年11月	2014年10月	2014年11月
通貨供給量 (M2)	91,014	99,696	99,273
前年同月比	29.4	14.4	9.1
前月比	4.4	Δ1.0	Δ0.4
総預金	60,414	67,506	68,529
前年同月比	31.4	18.8	13.4
前月比	6.3	Δ3.2	1.5
トウグルク預金	46,310	50,595	49,768
前年同月比	46.3	16.0	7.5
前月比	6.2	Δ3.0	Δ1.6
外貨預金	14,105	16,911	18,758
前年同月比	Δ1.5	28.2	33.0
前月比	6.9	Δ3.7	10.9

(出所) 国家統計局月報

(図 2) 貨幣供給量 (M2) と消費者物価指数 (CPI) の前月比伸び率

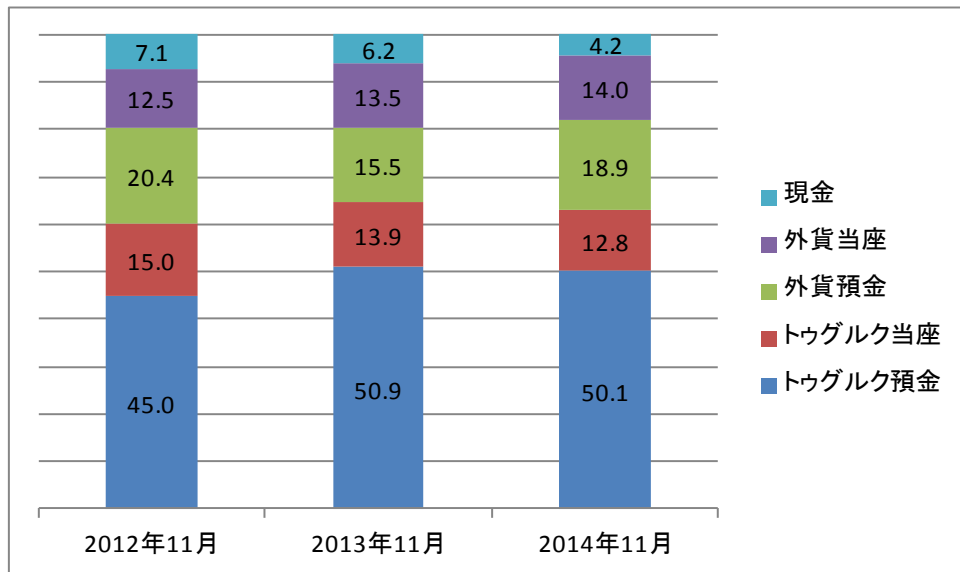
(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

(図3) マネーサプライの構成比

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

③【貸付残高】貸付残高は前年同期比 16.9%増、不良債権残高は同 8.3%増

11 月末時点の貸付残高は前年同月比 16.9%増（前月比 1.4%減）の 12 兆 6,484 億トウグルクだった（表 4 参照）。

(表 4) 貸付残高の推移

(単位: 億トウグルク、%)

	2013 年 11 月	2014 年 10 月	2014 年 11 月
貸付残高	108,224	128,335	126,484
前年同月比	57.6	22.4	16.9
前月比	3.2	1.8	Δ1.4
不良債権残高	5,725	6,063	6,200
前年同月比	91.8	8.2	8.3
前月比	2.1	2.7	2.3
期限超過債権残高	1,611	4,506	4,447
前年同月比	9.1	166.0	176.0
前月比	Δ4.9	Δ3.0	Δ1.3
不良債権比率	5.3	4.7	4.9
期限超過債権比率	1.5	3.5	3.5

(出所) 国家統計局月報

貸付先別にみると、民間セクターに 6 兆 8,347 億トウグルク（構成比 54.0%）、個人に 5 兆 6,425 億トウグルク（同 44.6%）、公的機関に 1,327 億トウグルク（同 1.0%）、

金融機関に 283 億トウグルク(同 0.2%)、その他の機関に 102 億トウグルク(同 0.1%)
がそれぞれ貸し出されている。

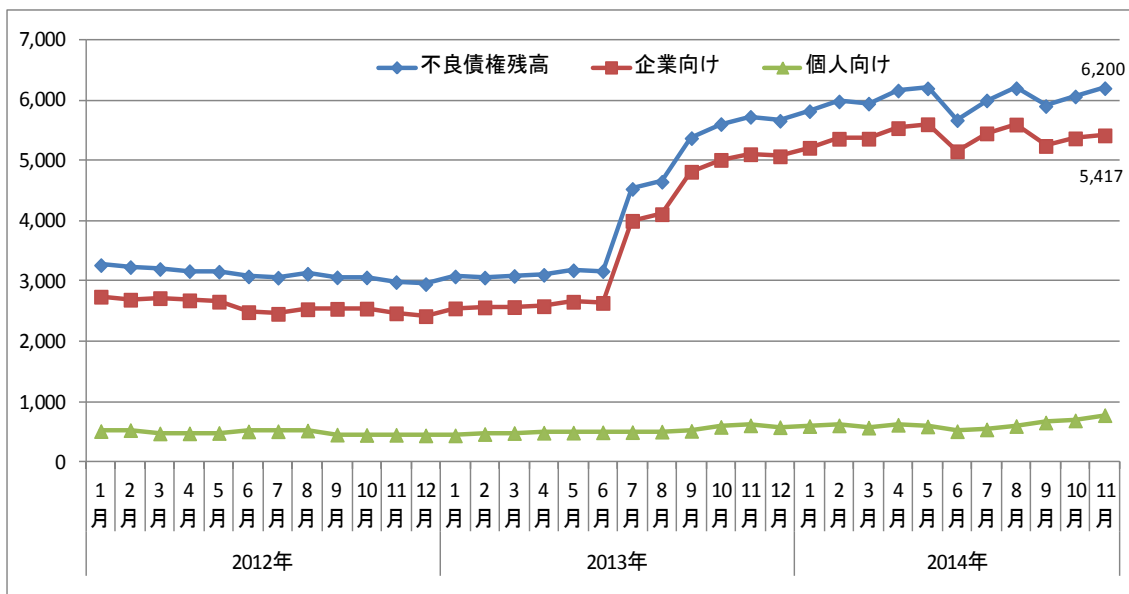
不良債権残高は、前年同月比 8.3%増(前月比 2.3%増)の 6,200 億トウグルクだっ
た(図 4 参照)。不良債権比率は 4.9%と、前年同月比で 0.4 ポイント減少、前月比で
0.2 ポイント増加した。

期限超過債権残高は、前年同月比 2.8 倍増(前月比 1.3%減)の 4,447 億トウグルク
だった。期限超過債権比率は 3.5%と、前年同月比で 2.0 ポイント増加、前月比で変わ
らずだった。

なお、市中銀行の総資産は前年同期比 7.3%増(前月比 2.6%減)の 18 兆 3,601 億
トウグルク、政府債務は前年同期比 24.2%増(前月比 2.1%増)の 2 兆 1,677 億トウグ
ルクだった。

(図 4)不良債権残高の推移

(単位:億トウグルク)



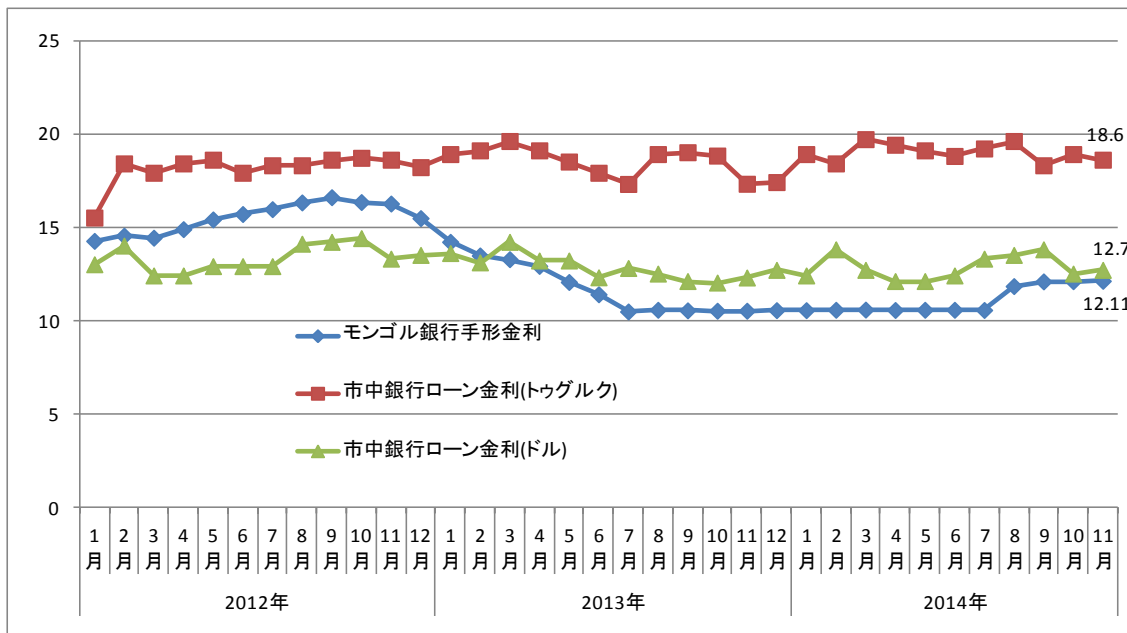
(出所)国家統計局月報

④【金利】トウグルク金利は前月比 0.3 ポイント低下の 18.6%

2014 年 11 月末時点の銀行ローン金利(年利)は、トウグルクが前月比 0.3 ポイン
ト低下(前年同月比 1.29 ポイント上昇)の 18.6%、ドルは前月比 0.2 ポイント上昇(前
年同月比 0.41 ポイント上昇)の 12.7%だった(図 5 参照)。

(図 5) 銀行ローン金利の推移(年利)

(単位: %)



(出所)モンゴル銀行

⑤【財政収支】1～11月の財政収支は4,405億トゥグルクの赤字

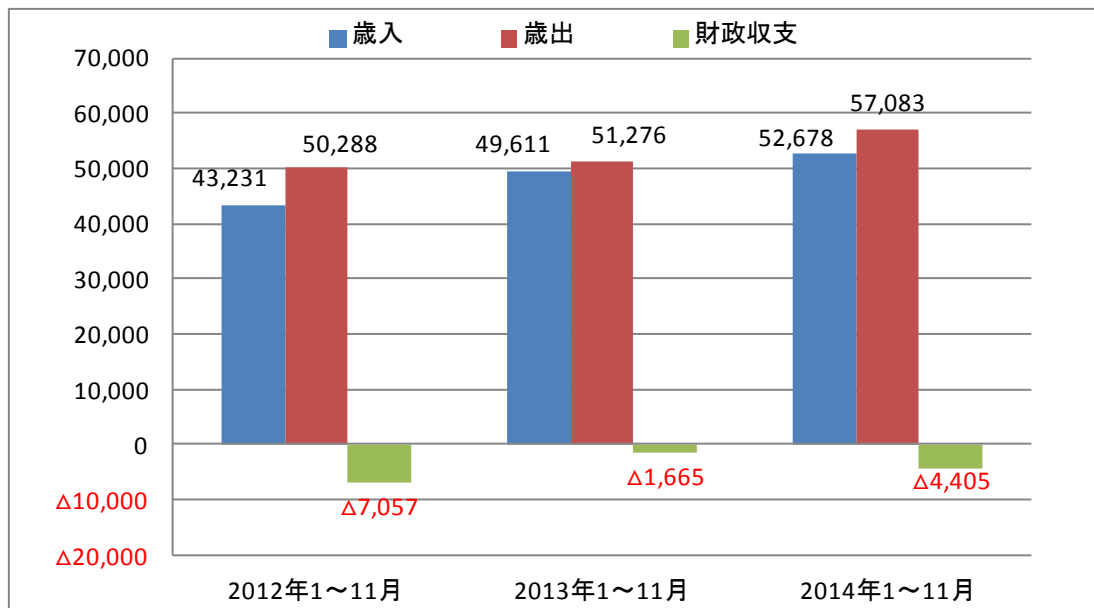
1～11月の歳入および外国からの援助は前年同期比6.2%増の5兆2,678億トゥグルク、歳出および返済は同11.3%増の5兆7,083億トゥグルク、財政収支は4,405億トゥグルクの赤字だった(図6参照)。

歳入および外国からの援助の内訳をみると、税収が85.1%(前年同期比2.7ポイント減)、税以外の収入が14.0%(同2.6ポイント増)、財政安定化基金からの収入が0.9%(同0.1ポイント増)を占めた。

歳出および返済の内訳をみると、経常支出が79.0%(同2.7ポイント増)、資本支出が20.5%(同0.6ポイント減)、返済が0.5%(同2.1ポイント減)を占めた。

(図 6) 財政収支の状況

(単位: 億トウグルク)



(出所) 国家統計局月報

(2)貿易・投資

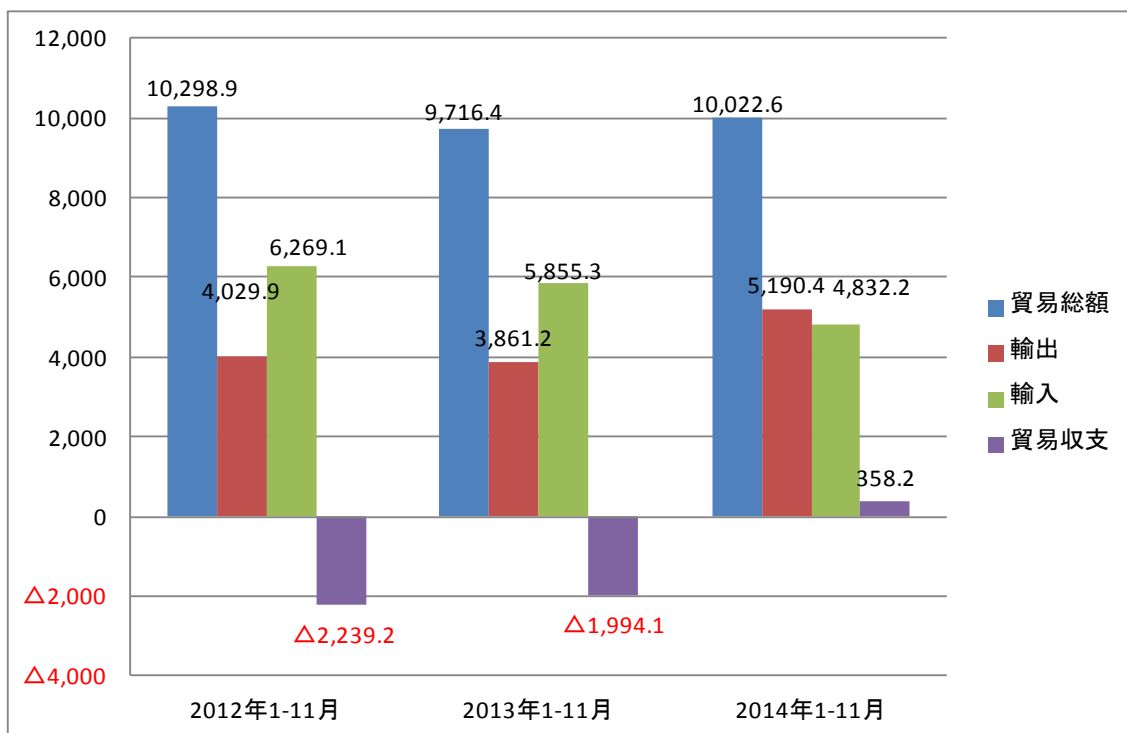
①【貿易統計】1～11月の貿易収支は3億5,825万ドルの黒字

1～11月のモンゴルの貿易総額は前年同期比3.2%増の100億2,259万ドル、うち輸出が同34.4%増の51億9,042万ドル、輸入が同17.5%減の48億3,217万ドルだった。貿易収支は3億5,825万ドルの黒字となった(図7参照)。

貿易相手先は135カ国・地域にのぼった。シェアを見ると、中国が62.1%(前年同期比10.5ポイント増)、ロシアが14.8%(同0.4ポイント減)、その他が23.1%(同10.1ポイント減)を占めた。

(図7)貿易額および貿易収支の推移

(単位:100万ドル)



(出所)国家統計局月報

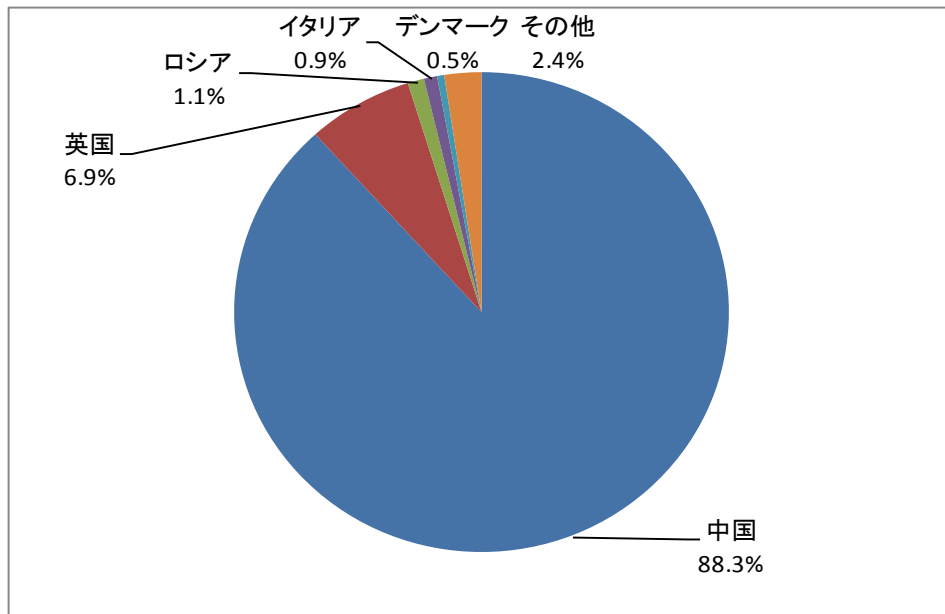
<銅精鉱の輸出が前年比2.7倍増>

輸出相手先は59カ国・地域にのぼる。輸出総額に占めるシェアは、中国が88.3%、英国が6.9%、ロシアが1.1%、イタリアが0.9%、デンマークが0.5%、その他が2.4%だった(図8参照)。

主要輸出品目は、鉱物製品、テキスタイル、宝石・貴金属、皮革・毛皮原料などで、これら4品目が輸出総額の97.3%を占める(表5参照)。

(図 8)輸出相手先のシェア

(単位:%)



(出所) 国家統計局月報

(表 5) 輸出総額に占める品目別のシェア

(単位:%)

	2012年1~11月	2013年1~11月	2014年1~11月
鉱物資源・製品	89.7	81.6	83.9
テキスタイル	5.7	7.0	6.2
宝石・貴金属	2.5	7.9	6.6
皮革・毛皮原料	0.6	0.8	0.6
その他	1.5	2.7	2.7

(出所) 国家統計局月報

(表 6) 鉱物製品の輸出量(数量ベース)(単位:1,000トン、金はトン、原油は1,000バレル)

	2012年1~11月	2013年1~11月	2014年1~11月
石炭	18,868.2	16,103.7	16,926.3
原油	3,230.7	4,532.1	6,330.2
鉄鉱石	5,743.3	5,986.8	5,554.3
銅精鉱	527.2	586.0	1,253.1
螢石	398.0	310.5	287.5
亜鉛鉱石	125.9	121.3	93.3
金(未精錬・半精錬)	2.3	7.4	8.4
その他	5.9	5.6	8.6

(出所) 国家統計局月報

このうち鉱物製品の内訳をみると、銅精鉱が44.1%（前年同期比22.1ポイント増）、石炭が14.6%（同11.5ポイント減）、原油が11.6%（同0.0ポイント）、鉄鉱石が7.7%（同7.6ポイント減）、未精錬または半精錬の金が6.6%（同1.3ポイント減）、亜鉛鉱石が2.0%（同0.8ポイント減）、蛍石が1.3%（同0.7ポイント減）、モリブデンが0.6%（同0.1ポイント減）、その他の製品が11.5%（同0.1ポイント増）となっている。なお、数量ベースの輸出量は表6に示した通りである。

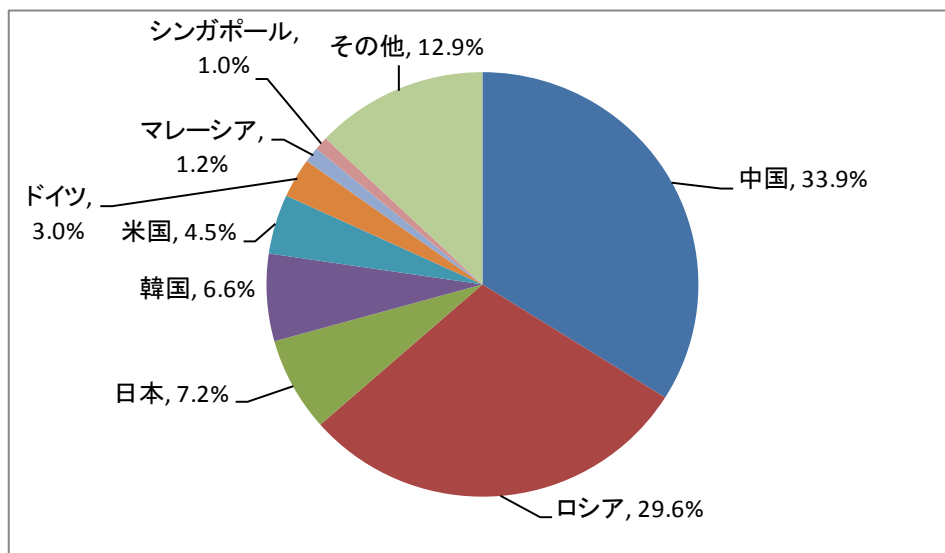
<中国、ロシアへの輸入依存度が前年同期比10.5ポイント増>

輸入相手先は93カ国・地域にのぼる。輸入総額に占めるシェアは、中国が33.9%（前年同期比5.2ポイント増）、ロシアが29.6%（同5.3ポイント増）、日本が7.2%（同変わらず）、韓国が6.6%（同1.5ポイント減）、米国が4.5%（同3.8ポイント減）、ドイツが3.0%（同0.8ポイント減）、マレーシアが1.2%（同0.1ポイント増）、シンガポールが1.0%（同0.1ポイント増）、その他が12.9%（同4.5ポイント減）だった（図9参照）。

輸入総額に占める品目別のシェアは、鉱物製品が25.6%、機械設備・電機製品および同部品が17.5%、自動車・航空機および同部品が11.1%、金属製品が10.2%、食品が6.4%、その他の製品が29.1%だった（図10参照）。

（図9）輸入相手先のシェア

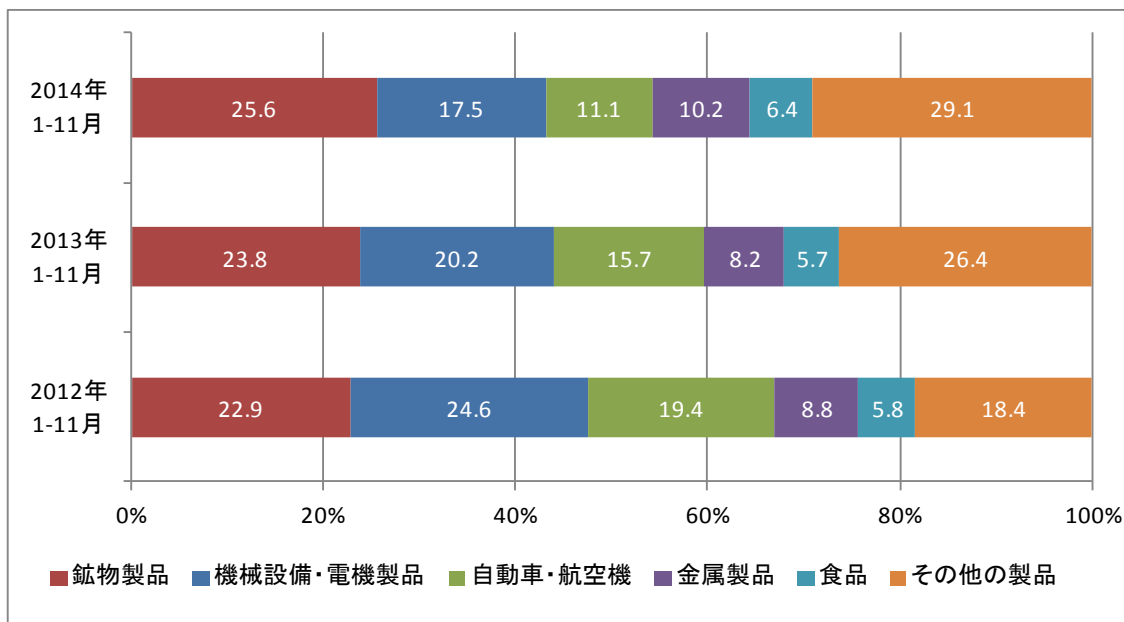
（単位：%）



（出所）国家統計局月報

(図 10) 輸入総額に占める品目別のシェア

(単位: %)



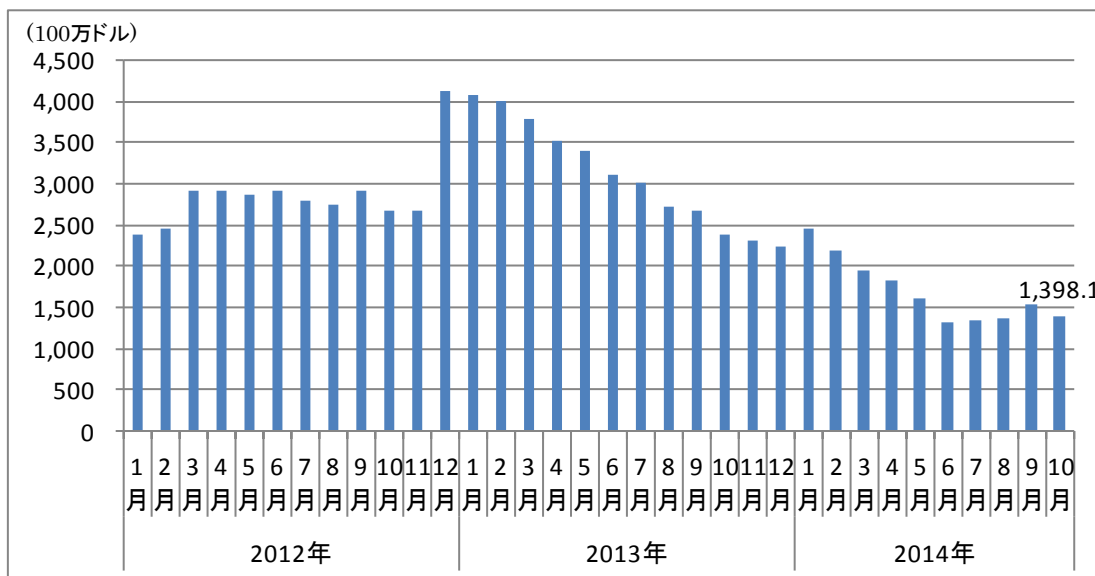
(出所) 国家統計局月報

②【外貨準備高】グロス外貨準備高は 13 億 9,810 万ドル

10 月末時点のグロス外貨準備高は、前年同月比 9 億 9,110 万ドル減、前月比 1 億 4,460 万ドル減の 13 億 9,810 万ドルとなった (図 11 参照)。

(図 11) グロス外貨準備高の推移

(単位: 100 万ドル)



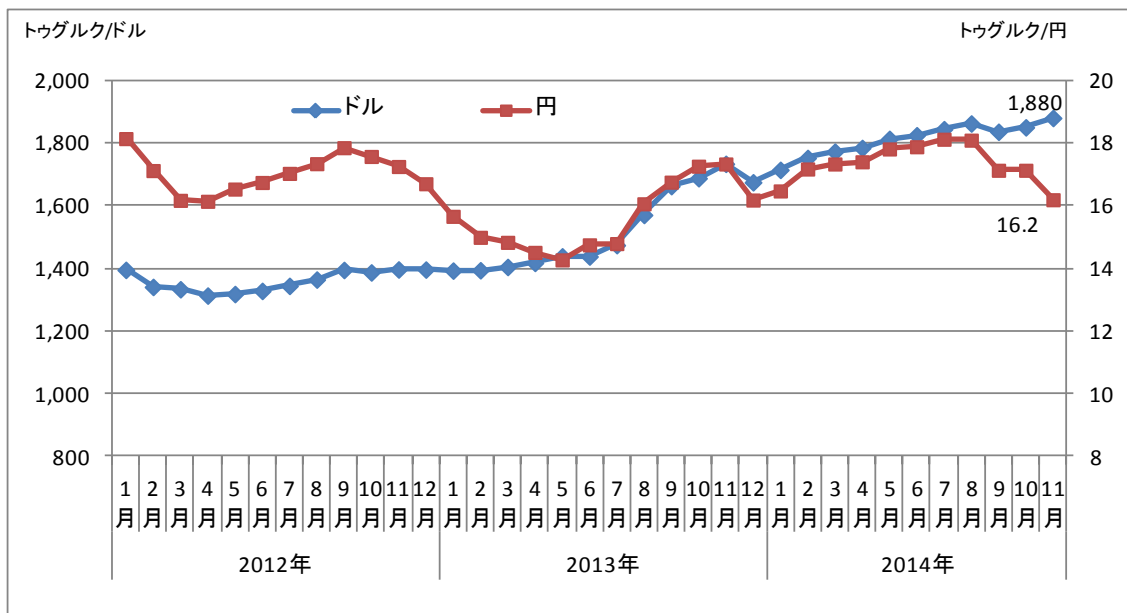
(出所) モンゴル銀行

③【為替】対ドルはトゥグルク安、対円はトゥグルク高

11月の期中平均レートは、対ドルは1,880トゥグルク、対円は16.2トゥグルクだった。前月比で、対ドルはトゥグルク安、対円はトゥグルク高だった（図12参照）。

(図12) 為替レートの推移

(左軸: 対ドル、右軸: 対円)



(出所)モンゴル銀行

(3) 産業

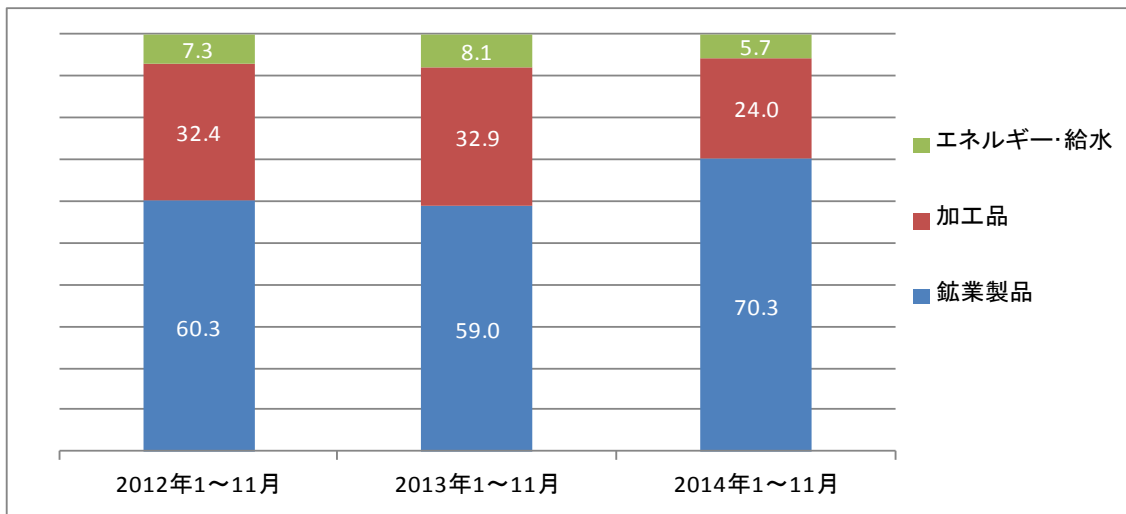
①【工業生産】1～11月期の工業生産は前年同期比 26.7%増加

1～11月期の工業生産は、前年同期比 26.7%増の 8 兆 2,141 億トウグルクだった。

なお、工業生産品の総売上高は 9 兆 7,384 億トウグルクで、このうち鉱業製品が 70.3%（前年同期比 11.3 ポイント増）、加工品が 24.0%（同 8.9 ポイント減）、エネルギー・給水が 5.7%（同 2.4 ポイント減）を占めた（図 13 参照）。

(図 13) 工業生産品の売上高に占める品目別シェア

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

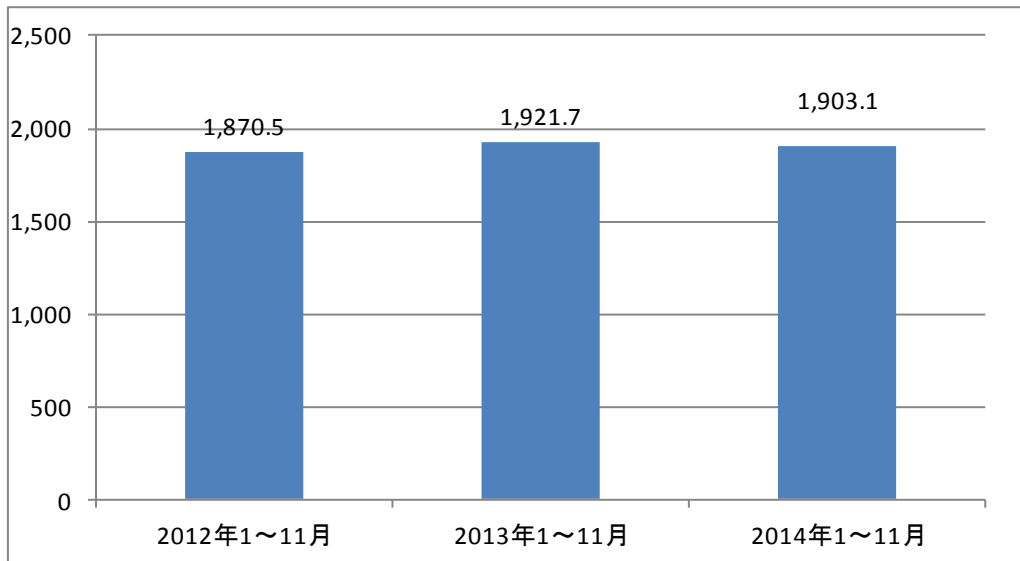
②【輸送業】鉄道貨物輸送が前年同期比 1.0%減、航空貨物輸送が同 16.3%減

1～11月の鉄道貨物輸送量は前年同期比 1.0%減の 1,903 万トン、航空貨物輸送は同 16.3%減の 3,180 トンだった（図 14、図 15 参照）。

同期における鉄道旅客者数は同 11.5%減の延べ 309 万 2,600 人、航空旅客者数は同 13.6%減の延べ 62 万 3,800 人だった（図 16 参照）。

(図 14) 鉄道貨物輸送量

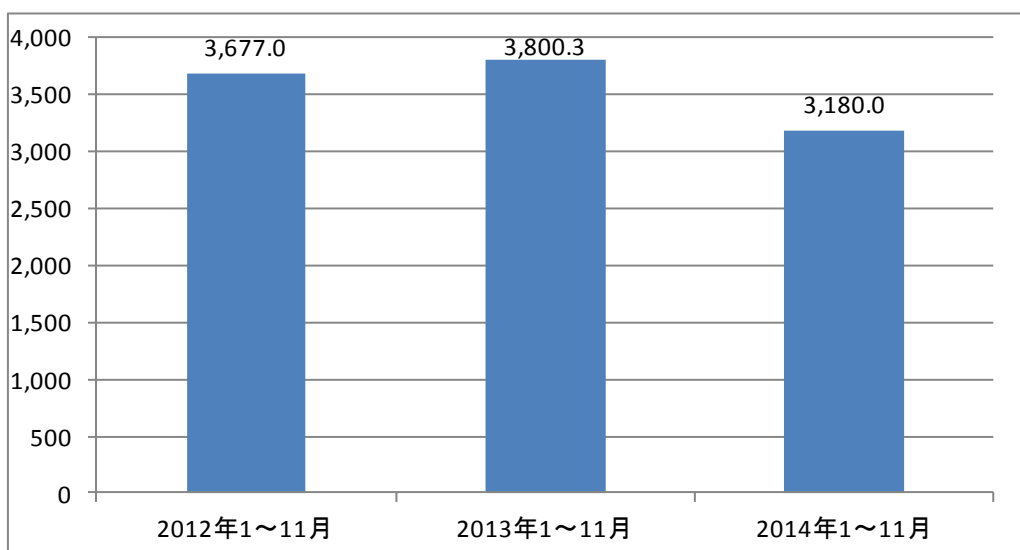
(単位:万トン)



(出所) 国家統計局月報

(図 15) 航空貨物輸送量

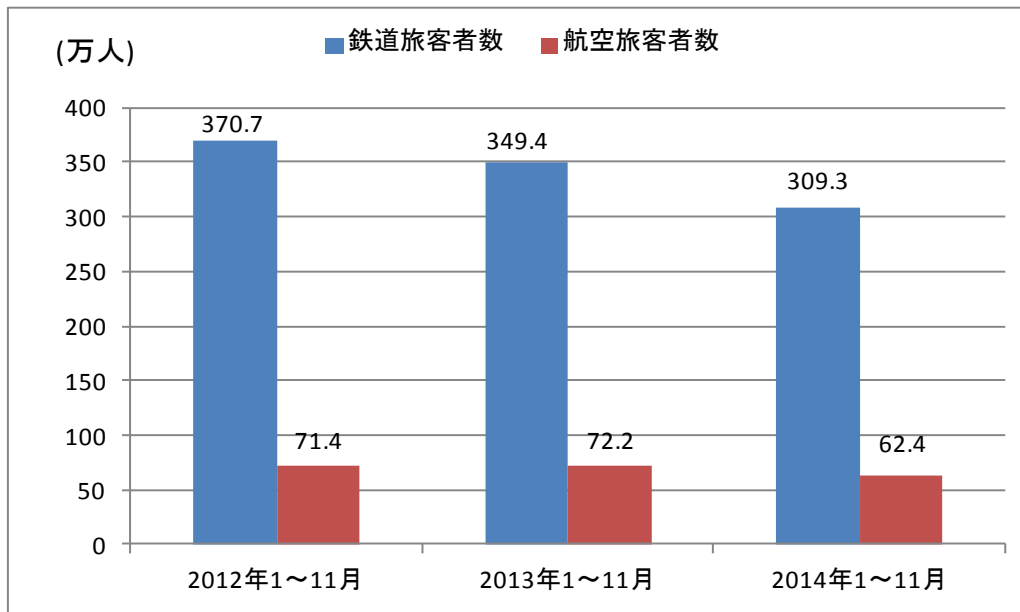
(単位:トン)



(出所) 国家統計局月報

(図 16) 鉄道および航空旅客数

(単位: 万人)



(出所) 国家統計局月報

3. 社会動向

①【社会保険・社会福祉】社会保険支出は前年同期比 22.9%増

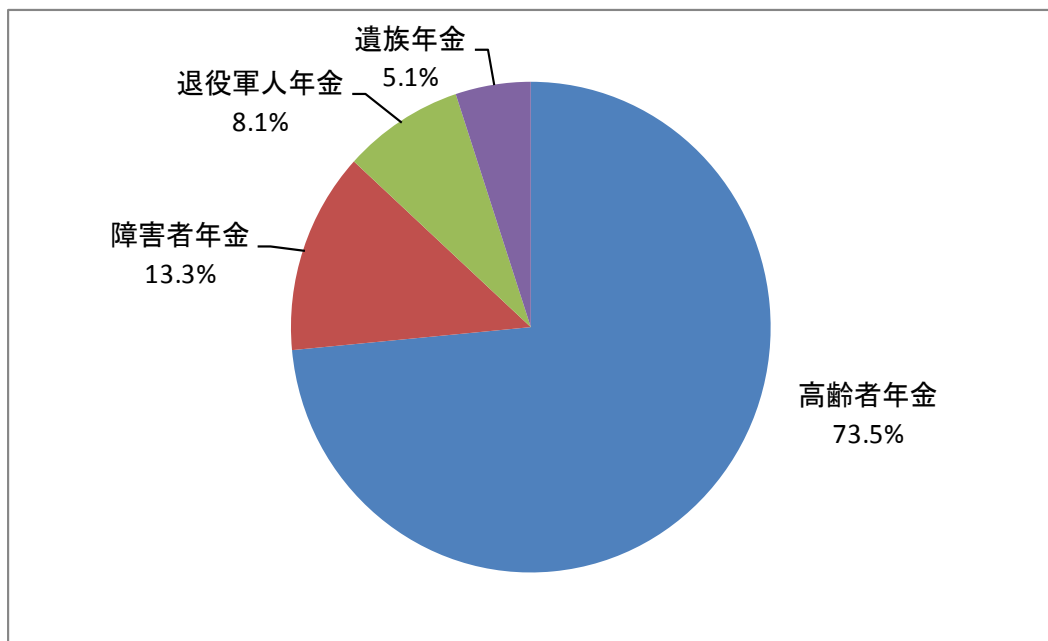
1～11月の社会保険基金収入は前年同期比 11.5%増の 1兆 2,016 億トウグルク、支出は同 22.9%増の 1兆 1,801 億トウグルクだった。

社会保険基金から支給された年金のうち、高齢者年金が 73.5%、障害者年金が 13.3%、退役軍人年金が 8.1%、遺族年金が 5.1%を占めた（図 17 参照）。

なお、同月における社会保険加入者数は 81 万 7,894 人、うち企業加入者が 68.8%、公務員加入者が 31.2%を占めた。前年同月比では、加入者総数が 4.6%、企業加入者が 5.0%、公務員加入者が 3.7%、それぞれ増加した。

（図 17）年金支給の内訳

（単位：%）



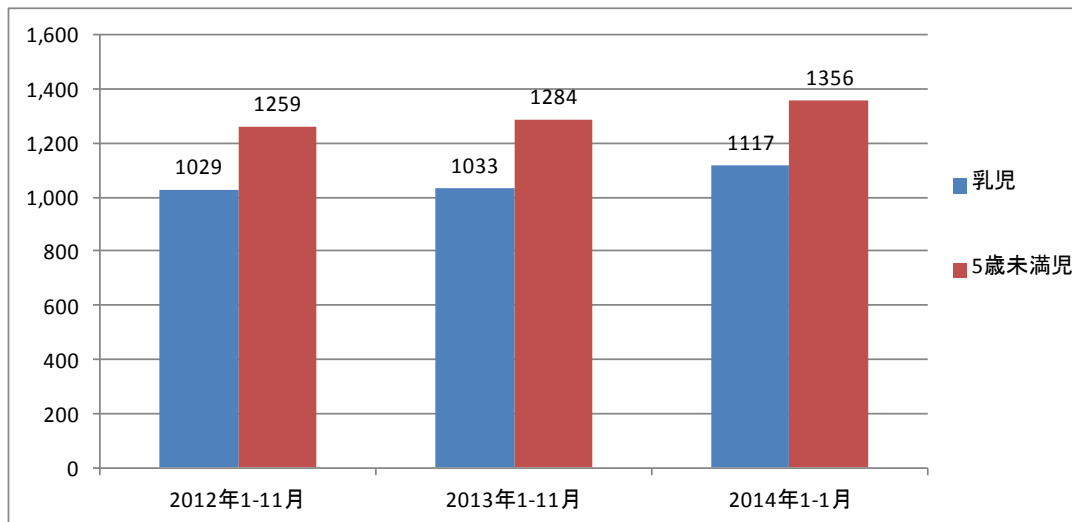
（出所）国家統計局月報

②【保健・医療】伝染病感染者数は前年同期比 10.5%減

1～11月の出産件数は前年同期比 2.3%増の 7万 4,767 件、実際に出生した人数は 2.4%増の 7万 5,213 人だった。同期における乳児死亡者数は前年同期比 8.1%増の 1,117 人、5歳未満児の死亡者数は同 5.6%増の 1,356 人だった（図 18 参照）。

(図 18) 乳児および 5 歳未満児の死亡件数

(単位: 人)



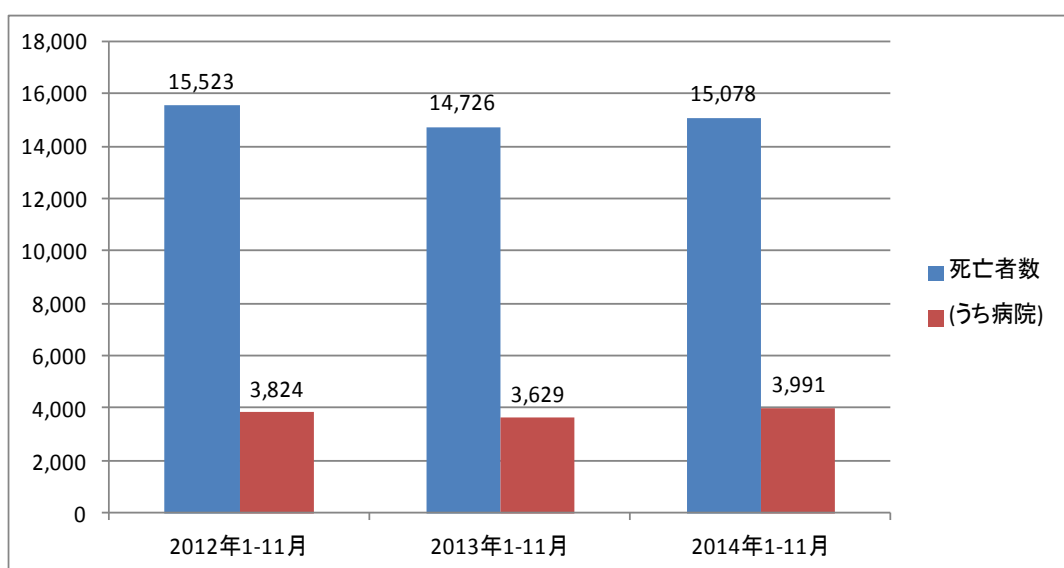
(出所) 国家統計局月報

また、同期における伝染病感染者数は前年同期比 10.5%減の 3 万 830 人だった。このうち、梅毒が同 13.7%増の 6,324 人、淋病が同 7.0%減の 4,175 人、水痘（水ぼうそう）が同 4.1%減の 4,004 人、結核が同 2.5%増の 3,865 人、トリコモナス症が同 1.5%増の 3,570 人、赤痢（せきり）が同 18.7%増の 2,191 人、ウイルス性肝炎が同 57.1%減の 1,038 人、流行性耳下腺炎（おたふく風邪）が同 91.9%減の 419 人だった。

全国の死者総数は同 2.4%増の 1 万 5,078 人だった。このうち、病院での死者数は同 10.0%増の 3,991 人と全体の 26.5%を占めた（図 19 参照）。なお、同期間に病院で入院あるいは治療を受けた患者数は同 5.1%増の 69 万 7,026 人であった。

(図 19) 全国の死者数

(単位: 人)



(出所) 国家統計局月報

③【平均給与】平均給与は前期比 0.8%増の 79 万 2,800 トウグルク

社会保険基金の報告書によると、モンゴル国内の 3 万 4,300 社の 2014 年第 3 四半期の平均給与は前期比 0.8%増の 79 万 2,800 トウグルクで、男性は同 2.7%増の 86 万 3,100 トウグルク、女性は同 1.3%減の 72 万 2,300 トウグルクだった。

分野別では、鉱山採掘の 148 万 3,000 トウグルクが最も高く、ホテル・レストランの 55 万 3,000 トウグルクが最も少なかった。

従業員数別では、200 人以上が 107 万 9,700 トウグルク、100～199 人が 78 万 5,900 トウグルク、50～99 人が 72 万 1,300 トウグルク、10～49 人が 67 万 8,300 トウグルク、1～9 人が 54 万 4,400 トウグルクだった。

2015年2月～5月の予定

- | | |
|----------|---|
| 3月23～25日 | International Mining & Multi Sector Trade Fair
(於・Buyant Ukhaa Sports Palace、ウランバートル) |
| 3月 | Gates to Asia 2015 Trade and Fair presented by Russian Companies
(於・モンゴル商工会議所 ウランバートル) |
| 4月1～3日 | Mining Mongolia 2015
(於・Buyant Ukhaa Sports Palace、ウランバートル) |
| 4月9～10日 | Coal Mongolia 2015
(於・SS-Convention center、ウランバートル) |